

特別委員会審査報告

地域開発特別委員会・市街地活性化特別委員会 塩尻市総合計画特別委員会

※改選前の3月定例会最終日に特別委員会の報告を行っています。
塩尻市議会には3つの特別委員会が設置され、それぞれの所管について審査しています。



委員会で検討されていた開発誘導エリア

地域開発特別委員会 新体育館建設について

当委員会は、平成23年5月11日以降、計14回開催し、そのうち11回、新体育館建設に関する事項について協議を行いました。

平成23年9～10月に行った市民1万人アンケート結果と、国の合併特例債発行期限延長を踏まえ、27年度からの第五次総合計画の策定過程で検討することの報告を受けました。26年度に、庁内調査研究報告を受け、「建設規模6千130㎡、建設場所を中央スポーツ公園とする」プランA、「建設規模6千130㎡、建設場所を開発誘導エリアとする」プランB、「現体育館を大規模改

修し、サブアリーナを新設する」プランCの3つの案が示されました。

建設する場合についてはプランBに一本化する案を支持する結果になりました。

他に、旧柿沢苗圃の土地利用について説明を受けました。

市街地活性化特別委員会

塩尻・広丘駅周辺整備について

平成23年5月に、市街地の活性化に関する事項を調査及び審査するために当委員会が設置され、塩尻駅前広場の改修及び広丘駅周辺の地区のまちづくり等について協議しました。

塩尻駅前広場の改修では、公共交通機関の乗り換えの利便性や安全性、緑地帯等について意見が出され、駐車場の利用促進と料金設定について協議しました。

広丘駅周辺地区のまちづくりでは、基本的な考え方や検討経緯等、優先的に取り組むプロジェクトの報告を受けました。郷原宿、郷原街道を含めた地域資源の生かし方について更に検討するよう要望しました。

広丘駅東口駐車場の整備で

は、パーク&ライド駐車場としての使用料設定について説明を受け、駐車場の形態や料金設定、国道からの進入路等について協議し、安全な利用と万全な管理体制について要望しました。



パーク&ライドの広丘駅駐車場

塩尻市総合計画 特別委員会

平成25年9月定例会において、第五次総合計画策定に関する審査及び調査をするため、設置されました。

25年度2月に総合計画長期戦略(案)が示され、それに基づき委員会を7回開催し、協議を重ねてきました。

26年度12月に本市が目指す都市像を「確かな暮らし、未来につながる田園都市」、計画



全議員が所属した特別委員会

期間を9年間とし平成35年の目標人口6万5千人に定め、子育て世代に選ばれる地域の創造、住み良い持続可能な地域の創造、シニアが生き生きと活躍できる地域の創造の3つを基本戦略に、行政の使命、業務領域等を定めた、総合計画長期戦略が示され承しました。

26年度3月に全体の計画期間を3力年とし、実施計画事業に新年度予算事業等も加味し施策の進捗管理のための「目標値」、協働で計画を推進するための「市民、企業、NPO等への期待」が新たに加わった中期全市戦略(案)が示され協議の結果26年度末の完成を了承しました。